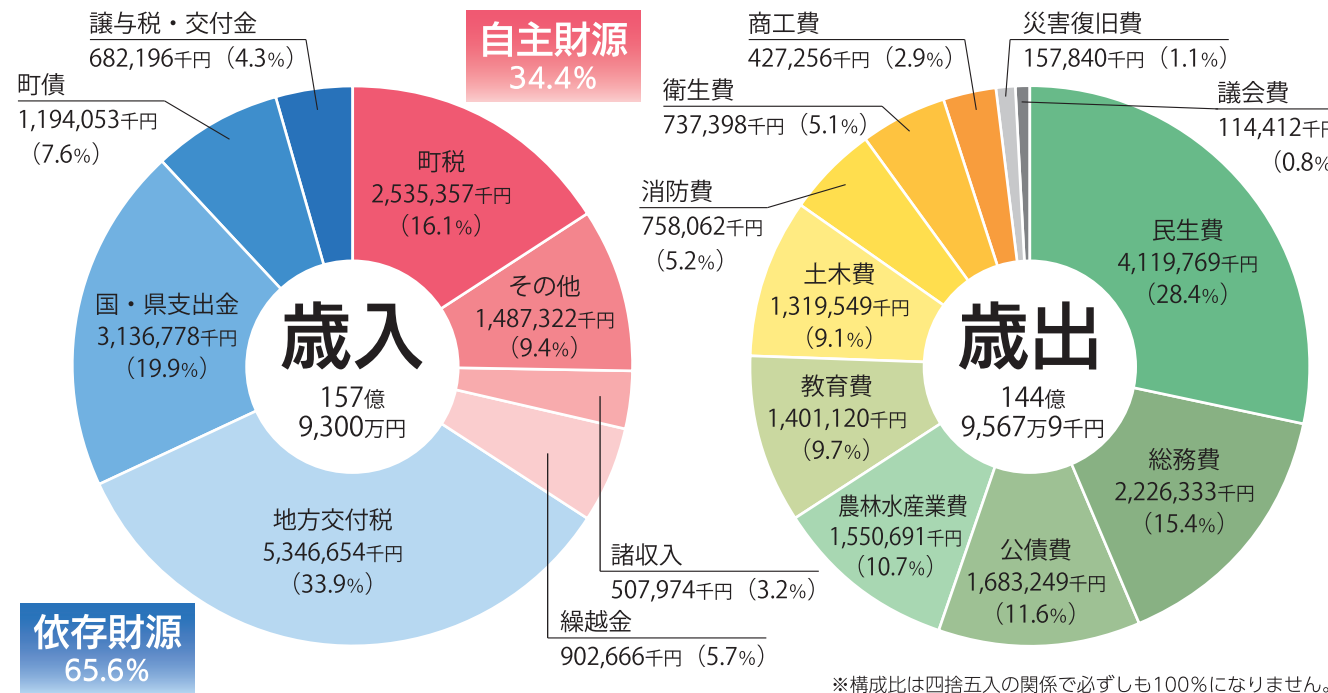


平成29年度の一般会計決算は、歳入が前年度比5.6%増の157億9,300万円、歳出が前年度比7.4%増の144億9,567万9千円、歳入歳出差引が前年度比11.3%減の12億9,732万1千円となりました。また、町債（借金）の残高は前年度から2.8%減の132億689万6千円、基金の残高は前年度から5.6%減の83億8,035万7千円となっています。

自治体財政の健全化を示す健全化判断比率は昨年に引き続き改善されており、今後も地方交付税や人口減による税収の減少に加えて、高齢化の進行などによる社会保障に係る経費の増加や、公共施設などの老朽化による更新・修繕の費用増大などで町の財政状況は非常に厳しくなっています。歳入歳出の両面にわたる徹底した行財政改革に引き続き取り組みていきますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

一般会計歳入・歳出

歳出総額 144億9,567万9千円



用語説明

自主財源…自治体自らの機能により自主的に収入しうる財源（町税、使用料・手数料、分担金・負担金、寄附金、繰越金など）

依存財源…国や他の自治体から交付される財源（地方交付税、国・県支出金、町債、譲与税・交付金など）

地方交付税…全ての自治体が一定水準の行政サービスを提供できるよう国税の一定割合が交付されるお金

町債…財源の不足を補い、年度間の財源調整を行って負担を平準化するために借り入れるお金

譲与税…国税として徴収した特定の税目収入の全額または一部を、一定の基準に基づいて地方公共団体に譲与するもの

民生費…医療、福祉、保険など社会保障に必要なお金

総務費…総務企画、税務、戸籍、統計監査などに必要なお金

公債費…過去に借り入れた借金の返済に必要なお金

農林水産業費…農林業、水産業、畜産業の振興に必要なお金

教育費…小中学校、幼稚園、公民館、図書館、生涯学習推進に必要なお金

土木費…道路、河川、公園、住宅などの整備に必要なお金

消防費…消防・救急業務、災害対策などに必要なお金

衛生費…保健衛生、ごみや環境対策などに必要なお金

商工費…商工業や観光の振興に必要なお金

災害復旧費…災害によって生じた被害の復旧に必要なお金

議会費…議会に必要なお金

町民1人あたりに換算すると

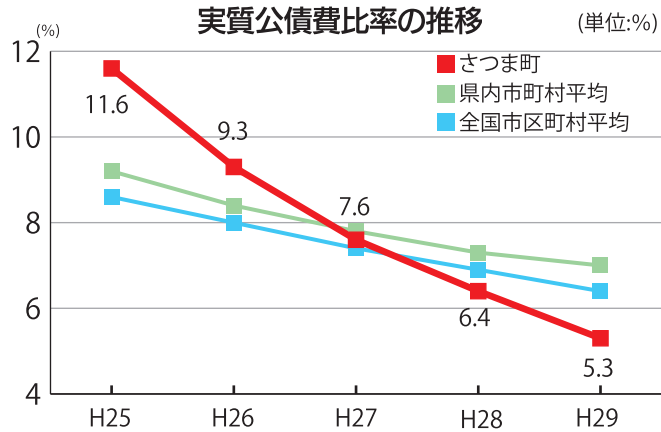
（平成30年1月1日現在の住基人口21,815人による）

町税負担額 11万6千円

使ったお金 66万4千円



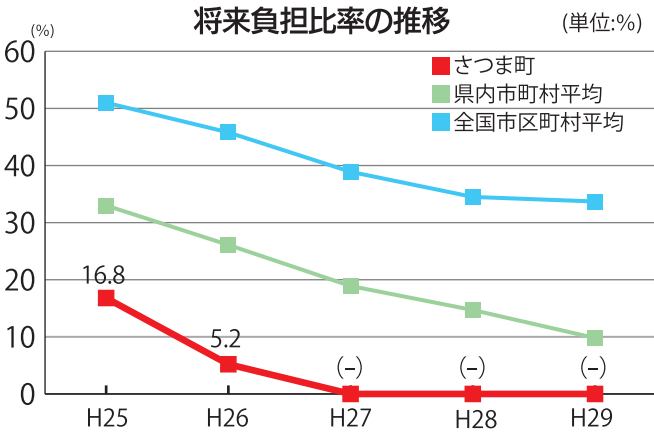
さつま町の健全化指標



【実質公債費比率とは】

地方債などの借入金の返済額が町税や地方交付税などの標準的な収入に対してどれくらいの割合になるのかを指標化し、3か年分を平均したものとします。

平成28年度決算と比較して
1.1%改善しました



【将来負担比率とは】

借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合が、町税や地方交付税などの標準的な収入に対してどれくらいの割合になるのかを指標化したものとします。積立金が増加し借金が減り、充当可能な財源などが将来負担額を上回ったため、**平成28年度に続きマイナス数値（-）**となりました。

特別会計

特別会計は、特定の目的のための会計で、国民健康保険や介護保険などの特定の収入があり、一般会計とは別にその収入・支出を管理します。

区 分	歳入（収入）総額	歳出（支出）総額	差引額
国民健康保険事業	40 億 4,215 万 5 千円	37 億 3,116 万 1 千円	3 億 1,099 万 4 千円
後期高齢者医療	3 億 3,159 万 3 千円	3 億 2,845 万 2 千円	314 万 1 千円
介護保険事業	33 億 6,791 万 4 千円	31 億 7,632 万 3 千円	1 億 9,159 万 1 千円
農業集落排水事業	5,002 万 4 千円	4,626 万円	376 万 4 千円

企業会計（水道事業）

水道事業は、皆さまからいただいた水道料金を主な財源として、独立した会計で運営しています。平成29年度から水道料金を見直して口径別料金体系に統一し、1,040万7千円の当年度純利益となりました。

■収益的収支（経常的な運営経費）

収入(4億1,342万円)

水道料金 338,098千円	その他 75,322千円
-------------------	-----------------

支出(4億301万3千円)

営業費用等 116,389千円	減価償却費 200,645千円	職員給与 64,549千円	借入金利息 21,430千円	純利益 10,407千円
--------------------	--------------------	------------------	-------------------	-----------------

※資本的収入の不足分は、損益勘定留保資金（減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金）等で補てんしました。

水道施設の老朽化や給水人口の減少に伴う水道料金の落ち込みなど厳しい経営状況ではありますが、安定したサービスを提供するため効率的な運営に努めます。

■資本的収支（水道施設整備など投資的経費）

収入(3,725万円)

負担金 37,250千円	損益勘定留保資金等 140,966千円
-----------------	------------------------

支出(1億7,821万6千円)

建設改良費 106,698千円	借入金償還金 71,518千円
--------------------	--------------------